

# 平成31年度(2019)スポーツライミング千葉県代表選手選考基準

2019年2月18日

県代表選手を選考する最終的な権限は千葉県山岳連盟が有する。代表選手の選考は以下の基準に基づき選手選考委員会が推薦し、千葉県山岳連盟理事会で承認することによって決定する。

## <国民体育大会県代表選手>

### I. 代表選手団選考方針

- (1) 関東ブロック大会を通過し、本国体出場の可能性が高い選手の組み合わせを重視する。
- (2) 本国体において入賞の可能性の高い選手の組み合わせを重視する。
- (3) 行動規範を重視し、千葉県山岳連盟を代表するに相応しい選手団を編成する。

### II. (公社) 日本山岳・スポーツライミング協会 (JMSCA) 国民体育大会スポーツライミング競技規程 開催基準要項細則 (資格・選考) の抜粋

- ① 都道府県大会等に参加し、これを通過した者であること。
- ② ただし、日本スポーツ協会に定める「国民体育大会予選会免除に関する要領」及び「トップ・アスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」に基づき、予選会への参加が免除となった者については、この限りではない。

### III. 千葉県山岳連盟の県内選考基準

1. IIのJMSCAの規定②に該当する選手を候補選手として優先的に考慮する。
2. 県主催の国体県予選大会の成績上位の選手を候補選手として考慮する。
3. 2より「上位の大会」(注)は県主催の国体県予選大会に準ずる大会として認め、その成績を2と同様に考慮する。

以上、1～3の結果を元に候補選手を選考し、Iの代表選手団選考方針に基づき総合的に判断して、千葉県山岳連盟の国体県代表選手を選考する。

(注)：「上位」大会

- ① ボルダリングジャパンカップ (H31.1、東京都世田谷区)
- ② リードジャパンカップ (H31.3、印西市松山下公園総合体育館)
- ③ リードユース日本選手権大会 (H31.3、印西市松山下公園総合体育館)
- ④ ボルダリングユース日本選手権大会 (H31.5、鳥取県倉吉市)

## <全国大会・関東大会 県推薦選手>

( リードユース日本選手権・ボルダリングユース日本選手権・JOCジュニアオリンピックカップ・関東小中学生選抜クライミング選手権大会 等)

### I. 推薦選手選考方針

- (1) 世界ユース選手権、アジアユース選手権への出場可能性が高い選手、および国民体育大会出場予定選手を重視する。
- (2) 将来的に国体や国際大会での活躍が期待される選手を重視する。
- (3) 行動規範を重視し、千葉県山岳連盟を代表するに相応しい選手団を編成する。

### II. 代表選手選考基準

- (1) 全国大会の成績により、JMSCA推薦選手となっているものは優先的に考慮する。
- (2) 以下の大会のうち、申し込み時期に間に合う同種目大会の成績を選考の参考資料とし、Iの選考方針に基づいて千葉県推薦選手を選考する。
  - ① ボルダリングジャパンカップ (H31.1、東京都世田谷区)
  - ② 千葉県ユース選手権大会 (H31.2、印西市松山下公園総合体育館)
  - ③ スピードジャパンカップ (H31.2、昭島市モリパークアウトドアヴィレッジ)
  - ④ リードジャパンカップ (H31.3、印西市松山下公園総合体育館)
  - ⑤ リードユース日本選手権大会 (H31.3、印西市松山下公園総合体育館)
  - ⑥ 千葉県民体育大会第二部 (千葉カップ) ボルダリング競技 (H31.4、幕張総合高校)
  - ⑦ ボルダリングユース日本選手権大会 (H31.5、鳥取県倉吉市)
  - ⑧ 千葉県民体育大会第二部 (千葉カップ) リード競技 (H31.6、幕張総合高校)
  - ⑨ 県高校総体登山大会クライミング競技 (H31.6、幕張総合高校)
  - ⑩ 千葉県小中学生スポーツクライミング大会 (H31.8、幕張総合高校)
  - ⑪ JOCジュニアオリンピックカップ大会 (H31.9、富山県南砺市)

以上

2019年度 千葉県山岳連盟 選手選考委員会 メンバー

委員長	阿部 雅史 (スポーツクライミング部 選手強化委員長)
委員	目次 俊雄 (スポーツクライミング部 競技委員長)
委員	有地 伸弘 (スポーツクライミング部 技術委員長)
委員	六角 智之 (スポーツクライミング部 普及安全・医科学委員長)
委員	飯田 恒次 (国体監督経験者)
委員	飯田 ゆか (国体監督経験者)
委員	平野 直子 (国体監督経験者)